

【別紙】

鳥取県バイシクルタウン構想案への意見募集結果の概要

環境立県推進課

1 パブリックコメントへの募集等

鳥取県バイシクルタウン構想(案)について、以下のとおり県民の皆様から意見を募集しました。

- (1)実施期間 平成25年5月10日から平成25年5月31日まで
- (2)周知方法 県ホームページ、新聞広告、報道機関への資料提供
- (3)受付意見 19件(メール11件)

2 意見の概要と対応方針

取組の方向性	提案・意見	対応方針
自転車走行空間の確保	湖山池を一周できる道路を整備してほしい。	湖山池周辺道路に自転車サイン・カラー舗装を実施し、少しでも安全に走行できる自転車利用環境の整備に取り組んでいくこととしています。
	自転車道の整備の際、一般県民が参加しディスカッションができる場を設置してほしい。	バイシクルタウン構想を推進するため、将来像の実現に向け、関係機関が連携した検討会議を設置し、具体的な検討を行いますので、具体的提案があれば環境立県推進課へメール等でお知らせください。
	歩行者と自転車の事故を防ぐため、車道を走れる自転車道の整備が必要。特に、湖山池周辺地域と鳥取市中心部をつなぐ自転車道整備が必要。	自転車走行空間の確保について、鳥取県では県道を整備する際に自転車の通行を考慮した路肩幅員とすることを定めた条例を4月に施行しています。また、当面の間改良予定のない路線については、自転車サイン・カラー舗装を実施するなどして、走行空間の確保を推進していくこととしています。 ご提案の具体的な整備箇所や整備方法については、構想実現化のため、関係機関による会議等で検討する中で参考にしたいと思います。
	自転車の利用促進には、自転車の通りやすい幹線を整備することが重要で、袋川沿いの道は車幅が広いので、自転車道を整備できるのではないか。	
	自転車の弱点は天候であり、雨や雪の多い鳥取県では、自転車専用道に屋根をつけたら、安全に自転車に乗ることができる。	
	天徳寺のトンネル越えをして、駅方面、鳥取西高などに行く自転車は多く、非常に危険。駅方面への利便性確保のための整備を望みます。	
	自転車走行空間の確保に向け、カラー舗装は必須であるが、事故防止のため、道路と自転車専用レーンは植樹帯、ガードレール等で完全分離させる必要がある。既設道路の幅員が狭く、自転車専用レーン・分離帯が拡充できない場合は、自転車・歩行者専用路をつくる。横断歩道は、段差があって危険であるので段差を平面化する。	
因幡自転車道は、縁石があるだけで、歩道とかわりなく、対人、対車での事故がおこりかねないところがある。もっとはきりした分離帯が必要。また、案内看板がスタートとゴール地点しかなく途中で道がわからなくなるので、分かれ道に道順サイン標識が必要。		

観光やスポーツへの活用のための環境づくり	観光面との相乗効果を狙って、ロードレースやサイクリングイベントの開催を検討していただきたい。	観光誘客にも資するサイクリングの推進を位置づけていますが、県西部地域では、大山中海地域をサイクリングのメッカとしていくために「サイクリングロード整備検討会」を設置しています。イベントの開催も含めて、検討して参ります。
	湖山池や浦富海岸を舞台として、県外からの参加者を期待できるイベントを企画してほしい。	自転車普及イベントの開催など積極的に自転車利用のPRをしていくこととしておりますので、今後とも検討して参ります。
	観光やスポーツへの活用のための環境づくりとして、鳥取砂丘周辺、山陰海岸ジオパーク周辺にサイクリング専用道路を整備したら、利用促進が図れるかもしれない	今後、構想の実現化に向けた関係機関による検討会議を設置しますので、検討する中で参考にしたいと思っております。
	ツーリング大会の開催を検討してほしい。	
	ニューヨークでは今年5月から自転車シェアリングが開始されており、まちづくりの参考にしてほしい。	レンタサイクルの活用促進のため、レンタサイクルステーションの設置などを将来検討することとしており、自転車シェアリングについても調査・研究し、検討して参ります。
交通機関と連携した利便性向上	バスだけでなく、列車にも自転車持込スペースの確保など専用車両を設けてほしい。	公共交通機関との連携して利便性を向上させるため、自転車車載バスの導入や自転車車載可能な鉄道路線の拡大に努めることとしています。
自転車利用のきっかけづくり	自転車の夜間走行は危険であるため、ライトをLED化するべきで、助成制度により、解消したほうがいい。また、雨のときでも自転車利用を促進するため、サイクルウェアに対する助成制度を設けてほしい。	自転車ライトのLED化により、危険防止に役立つ面もあるかと思いますが、本構想では、自転車の交通安全教室の開催なども位置づけており、こうした取組を推進することにより、安全を確保していきたいと考えます。また、サイクルウェアについては、逆に雨天時の安全性の点からも無理なく自転車利用の推進としていくこととしており、現状では助成制度は考えていません。
	自転車通勤者の特集をWEBや機関紙で広報してほしい。	自転車通勤チャレンジを実施することとしており、チャレンジした県民を県政だよりで紹介するなど広報しています。引き続き、WEB等も含めてあらゆる媒体で自転車通勤に関する広報に努めて参ります。
	構想の実現に向けて、まずは、県職員全員が自転車通勤を目指してほしい。	自転車通勤チャレンジを県庁全体に呼びかけて実施することとしており、県職員のみならず、県民も含めて自動車から自転車への通勤手段の変更を促進して参ります。
ルール、マナーの徹底	自転車利用が増加した場合、事故が増えるので、ドライバーの意識改革を含めた構想にしてほしい。	本構想では、自転車シュミレーターを活用した交通安全教室の実施のほか、学校での自転車マナーアップの推進に努めることとしています。
その他	鳥取に全天候型競輪場を作って、構想の中核とするのはいかがでしょうか。併せて、シマノなど自転車産業を誘致し、自転車競技の中核とする複合施設を建設するなど自転車王国鳥取県を目指してはどうか。	本構想の目標は、マイカー利用から自転車へ転換を促進することと、サイクリング等を促進することで、県民の健康増進や観光誘客に資する取組を展開することです。競輪場や自転車産業の誘致などの産業政策は構想の対象外としており、別の場面での検討となると思っております。